

CASBEE-広島 2014年版 (仮称)広島市中区舟入本町計画 新築工事			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)				
スコアシート 実施設計段階									
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									3.5
Q1 室内環境						0.40		-	4.0
1 音環境					3.0	0.15	3.2	1.00	3.2
1.1 騒音			コンクリート壁厚180mm D-50 スラブ厚250mm		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					3.0	0.50	3.5	0.50	
1 開口部遮音性能					3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能					-	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音					-	-	-	-	
2 温熱環境					2.6	0.35	5.0	1.00	4.5
2.1 室温制御			住宅性能評価基準「5-1断熱等性能等級」等級4		2.2	0.50	5.0	1.00	
1 室温					3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能					1.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性					-	-	-	-	
2.2 湿度制御					3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					3.0	0.25	4.3	1.00	4.0
3.1 昼光利用			共用部分:2.5%以上、住宅部分:2.0%以上 南、東面に開口部有り		4.2	0.30	4.6	0.50	
1 昼光率					5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口					-	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策			住居部は、カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御		2.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御					2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境					3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策			建築材料(F☆☆☆☆)を全面的に採用		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質					4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策					-	-	-	-	
4.2 換気					3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視					-	-	-	-	
2 喫煙の制御					-	-	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.3
1 機能性					2.8	0.40	3.6	1.00	3.4
1.1 機能性・使いやすさ			100Mbitを整備		1.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性					-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応					-	-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画					1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性			照明と内装計画が一体として計画。パースによる検討を実施。		4.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観					-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-	
3 内装計画					4.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理			メンテナンスしやすい計画 メンテナンスしやすい機能を確保している		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務					-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.4	0.30	-	-	3.4
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					4.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			住宅性能評価基準「劣化対策等級」等級3		5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			磁器質タイル		4.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			耐用年数20年以上		4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			給水:B 排水:B 雑排水:B		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	節水型器具を採用。	3.4	0.20	-	-					
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-					
	3	電気設備		5.0	0.20	-	-					
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-					
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-					
	3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.3		1.00	3.2		
3.1 空間のゆとり	階高2,910			-	-	3.6	0.50					
				1 階高のゆとり	-	4.0	0.60					
				2 空間の形状・自由さ	-	3.0	0.40					
	3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50					
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-					
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-						
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-						
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-						
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-						
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-						
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-						
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-		3.1			
	1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-		2.0			
	2 まちなみ・景観への配慮			周辺からの眺望を意識した配置計画、美観形成基準を満たしている。			4.0		0.40	-	-	4.0
	3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-		3.0			
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	見通しの良いフェンスの設置している	4.0	0.50	-	-						
3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-							
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5					
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9					
1 建物外皮の熱負荷抑制			住宅性能評価基準「5-1断熱等性能等級」等級4			5.0	0.20	-	-	5.0		
2 自然エネルギー利用						3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.92			4.1	0.50	-	-	4.1		
			集合住宅以外の評価(3a.3b)			1.0	-	-	-			
			集合住宅の評価(3c)			4.1	1.00	-	-			
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0		
			集合住宅以外の評価			-	-	-	-			
			4.1 モニタリング			-	-	-	-			
			4.2 運用管理体制			-	-	-	-			
			集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-			
			4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-			
			4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-			
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.3		
1 水資源保護						4.0	0.20	-	-	4.0		
			1.1 節水			4.0	0.40	-	-			
			1.2 雨水利用・雑排水等の利用			4.0	0.60	-	-			
			1 雨水利用システム導入の有無			4.0	1.00	-	-			
			2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-			
2 非再生性資源の使用量削減						3.2	0.60	-	-	3.2		
			2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-			
			2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-			
			2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-			
			2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			4.0	0.20	-	-			
			2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-			
			2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.20	-	-			
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.3	0.20	-	-	3.3		
			3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-			
			3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-			
			1 消火剤			-	-	-	-			
			2 発泡剤(断熱材等)			4.0	0.50	-	-			
			3 冷媒			3.0	0.50	-	-			
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.1		
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率が少ない			3.8	0.33	-	-	3.8		
2 地域環境への配慮						2.5	0.33	-	-	2.5		
			2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-			
			2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-			
			2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-			
			1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-			
			2 污水处理負荷抑制			3.0	0.33	-	-			
			3 交通負荷抑制			4.0	0.33	-	-			
			4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33	-	-			
3 周辺環境への配慮						3.1	0.33	-	-		3.1	
			3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-			
			1 騒音			3.0	1.00	-	-			
			2 振動			-	-	-	-			
			3 悪臭			-	-	-	-			
			3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-			
			1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-			
			2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-			
			3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-			
			3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-			
			1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			4.0	0.70	-	-			
			2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-			